



初田 かれん 奈良女子大学

担当ページ：大塚真帆さん

3組もの取材に関わらせていただき、それぞれに違った学びのあるお話を聞くことができました。特に大塚さまのお話を聞き、「自分の好きなことを職業にして仕事面を充実させても、家庭のことをあきらめない方法はあるんだ」と感銘を受けました。

時間は有限なので、将来のため悔いのない選択をしたいなら、早くから知識や情報を手に入れておくことが不可欠だと感じました。私自身も大学2回生まで「将来のことなんてまだ先」と思って、何も考えていなかったことを後悔している部分があります。自分の人生についてまだイメージが描けていない人も、この「生き方ログ」を読んで少しでも生き方について考えるきっかけを持ってもらえればいいなと思います。



山本 彩加 京都産業大学

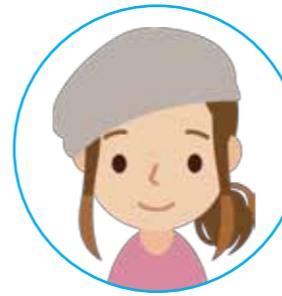
担当ページ：久保雅子さん

この取材を通して、自分の人生で何を大切にして生きていきたいかが少し見えてきたように感じます。オムロンパーソナル（株）の久保社長にインタビューをさせていただいたときは、これからの女性の生き方について力強く語っておられたのがとても印象的でした。「これからは女性も活躍する時代。そのためには男性の助けなしには成り立たない。」と語っておられ、今後、結婚・出産しても仕事を続けたいと望む私にとってすごく後押しされた言葉でした。

これから人生何があるか分からないけれど、それぞれ人生のイベントをどれも楽しんでいけるよう、今の学生生活で勉強も遊びも精一杯後悔しないようにしたいです。

京都若者ライフデザインプロジェクトチーム

この事業では京都府内在住・在学の学生がプロジェクトチームを結成。生き方ログに掲載するモデル選びや、取材、原稿の作成などに取り組み、自らも「結婚とは?」「人生とは?」と問いを重ねてきました。取材、編集を通して“いろいろな生き方”があることに触れ、自分たちのライフデザインについても考えるきっかけになりました。



平野 夏帆 京都女子大学

担当ページ：安久成実さん、田中敦洋さん

取材を通して印象に残った言葉は、「時間は有限である。だから、自分にとって良い人生を送るために、無駄な時間を作らず時間を大切に使う」ということです。

私が取材した二人の方は学生時代も現在も時間を有意義に使い、限られた時間の中で多くの経験をし、それが今に繋がっている印象を受け、常に一生懸命に物事に取り組む姿を見習いたいと思いました。また、この取材は自分の時間の使い方を見直し、様々なことに挑戦して多くの経験を積みたいと考えるきっかけになりました。

ライフデザインに関しても、自分の目標に向かいながら、結婚や子育てについて考えている姿が印象的で、自分自身の人生を考える上でも参考になりました。



松田 歩弓 京都女子大学

担当ページ：安久成実さん、田中敦洋さん

生き方ログの取材では、自分の生き方と照らし合わせながら話を聞いていた部分もあり、何気なく生きている日々に刺激を与えられました。特に、安久成実さんの「お金や時間が限られている中、1日にしたいことが溢れすぎていて1日1日を必死に生きていた」という言葉、田中敦洋さんの「チャンスがあったらものにする」という生き方に刺激を受けました。

記事を執筆するにあたっては、もう少しおしゃった言葉の意味を深く聞いても良かったのかなと振り返りながら執筆しました。また、座談会では他の学生のライフビジョンを知り、今まで目先のやるべきことに主に焦点を当ててしまっていて、長期的な目標が立てられていなかったのも、と自分自身に焦りを感じましたが、ライフデザインを考える上では、ロングスパンで人生を考えるきっかけとなりました。



改田 仁実 京都教育大学大学院

担当ページ：工忠さんご夫妻

自分では思いつかないような人生の進み方。今まで考えたこともないような人生の選択肢。この活動を通して、新たな考え方や価値観に出会うことが出来ました。そして、取材を通して、実際に人に会い、キラキラしている姿を見て、私も自分らしく進もうと刺激をもらうことが出来ました。昨年は、私も留学など新たな試みを実行し、自分自身にとっても、将来を考える年でした。「将来の夢=どの職業に就きたいのか」だけでなく、もっと大きく！

これから的人生をかけて、自分は何を成し遂げたいのか、と鳥瞰的に自分の生き方を眺めてみました。熱く、必死に、そして笑顔いっぱい！支えてくれる人たちを大事に思い、自分らしく、進んでいきたいです。



竹野 瑞莉 京都府立大学

担当ページ：OKAMURA工房のお二方

今回、生き方ログの制作で、苦労したことは、取材時に聞きたいことをどうやったらスムーズに相手から聞き出せるかということを考えることでした。一方で、取材の段階で苦労したことで、記事を書くという作業は、とてもスムーズに終えることができました。そしてこの活動を通して、自分自身のライフデザインを考えるいい機会にもなりました。改めて、節目節目で、悔いのないようにこれから的人生を全うしたいと思いました。

京都新聞に取材
掲載されました！

学生プロジェクトメンバー募集 !!

イベントの企画や若い方に向けた情報発信を仲間たちと一緒に考え、作り上げていきませんか。

詳しくは下記へお気軽にお問い合わせください。

京都府健康福祉部少子化対策課

TEL : (075) 414-4602

MAIL : shoshika@pref.kyoto.lg.jp

23

22